

平成23年度第2回公立大学法人秋田県立大学経営協議会
議事要旨

1 日時：平成23年10月18日（木）15：00～17：00

2 会場：ホテルメトロポリタン秋田3階「こまち」

3 出席者

（委員）

郷委員、種市委員、吉村委員、渡邊委員

小間理事長、柚原副理事長、小林理事、中村理事、佐藤理事

（監事・参与）

吉崎監事、前田監事、野田参与

（事務局）

長谷部次長、中泉チームリーダー、舘岡チームリーダー、細山チームリーダー、
石山チームリーダー、金子チームリーダー、藤井チームリーダー、三浦チーム
リーダー、木村チームリーダー、藤田シニアスタッフ、柴田職員

4 議事

定款の定めにより理事長を議長として会議が開催された。

（1）定款に基づき経営協議会の議を経る必要のある事項について

1）平成22年度業務実績に係る評価結果

2）平成22年度決算の利益処分承認

3）目的積立金使途計画

4）次期中期目標・中期計画

5）平成23年度予算の補正

6）主な規程の改正

7）職員の採用状況

以上の1）～7）について柚原副理事長より説明があり、了承された。

（2）平成23年度第1回経営協議会（H23.6.29）以降の学内外情勢について

1）共同大学院設置に向けた取組状況について小林理事より説明があった。

- 2) スーパー連携大学院について小林理事より説明があり、外部委員から講義についてeラーニングで実施するのかといった質問があった。
- 3) 平成24年度入学選抜試験実施状況について小林理事より説明があり、外部委員から本学大学院への進学状況及び他大学大学院への進学状況、外国人留学生の入学状況について質問があった。
- 4) 平成24年3月卒業生・修了生の進路状況について小林理事より説明があり、外部委員から3.11大震災の影響の有無について質問があった。
- 5) 公的研究費に関する調査
- 6) 東日本大震災に関する支援
以上の5)～6)について柚原副理事長より説明があった。
- 7) 節電による光熱水費削減の取組について佐藤理事より説明があった。
- 8) 10周年記念奨学金について小林理事より説明があった。

(3) 意見交換

- 1) 次期中期目標・中期計画について柚原副理事長より説明があった。

これについて、外部委員から以下のような意見があった。

- 優秀な学生を確保し、留学生を広く受け入れていくためには、奨学金による経済支援を行って、安心して勉学に励める環境を整備することは重要であり、国立大学よりもやりやすいと思う。卒業生が教員になっている姿を見せることも、学生を県立大学に引きつけることに繋がる。
- 修士課程の大学院生を企業との共同研究に参加させ、人材養成における産学連携を進めてはどうか。
- 女性の就職率が高いが、今後も理系女子の輩出と社会進出に取り組んで欲しい。
- 女性教員の比率が低い。優先的に女性教員を採用するなどの工夫が必要である。
- 秋田県は多様なエネルギー素材を持っている。県立大学が担う分野の中から、それらの素材を生かしたソーシャルシステムを構築するためのビジョンを示して欲しい。
- 秋田県は、人口減少、マーケットの縮小、経営体質の弱体化など難しい課題が多い。県立大学には、県内産業の競争力強化に向けた指導・支援をお願いしたい。
- 県内出身入学生比率の目標値(30%)は、もう少し高くてもよいと思う。

以上